

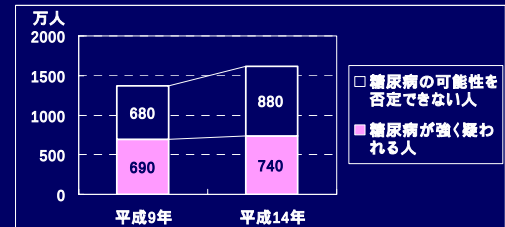
糖尿病療養指導士

平成16年6月26日(土)
 学術部 検査管理部門 管理運営分野 講演会
 松下記念病院 中央臨床検査部 江後 京子

Matsusita Memorial Hospital

日本の糖尿病の現状

平成14年 糖尿病実態調査



Matsusita Memorial Hospital

糖尿病療養指導士の発足

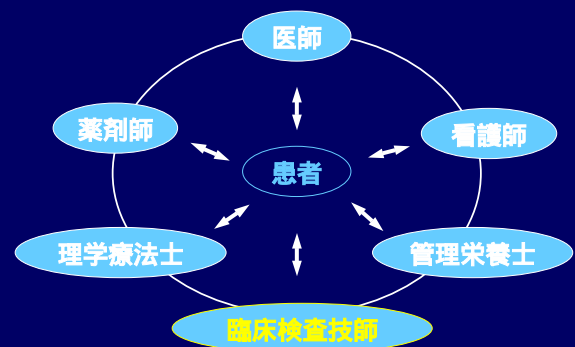
1. 糖尿病療養指導士はなぜ必要か？

- 網膜症、腎症などQOLを著しく損なう合併症を発症する患者の増加
↓ 合併症を予防するには...
- 血糖コントロールを改善し、自己管理の継続を促す
そのためには「継続治療の動機付け」と「治療の技術指導」が必要
↓ しかし...
- 医師だけでは増加した糖尿病患者の療養指導には対応できない
↓ マンパワーが必要！

**質の保証された糖尿病療養指導のできるコ・メディカル
 の養成が必要**

Matsusita Memorial Hospital

糖尿病チーム



Matsusita Memorial Hospital

2. 臨床検査技師としての指導は何ができるか？

コ・メディカルの役割の一例

- 看護師 ... 生活指導など
- 管理栄養士 ... 栄養指導など
- 薬剤師 ... 服薬指導など
- 理学療法士 ... 運動療法など
- 臨床検査技師 ... 自己血糖測定(SMBG)指導、
 検査の目的や結果の説明など**



臨床検査技師の特性を生かした療養指導

Matsusita Memorial Hospital

臨床検査技師が行うことによるメリット

- 糖尿病関連検査の目的・意義などを説明することで、患者は自己の検査データに対する理解や感心が高まる
- SMBG装置の特性(性能)を理解した技師が分かり易く説明することで、正しい測定方法の理解が深まる
- 血糖値の生理的な変化を技師が説明することで、自己測定を行うタイミングの重要性が理解できる



**手技説明に終わらず、糖尿病の動機付けを意識した
 指導を行える**

Matsusita Memorial Hospital

糖尿病療養指導士受験資格

- ・ 看護師、管理栄養士、臨床検査技師、薬剤師、理学療法士であること
- ・ 患者指導時間が1000時間以上であり、2年以上継続して療養指導に従事していること
- ・ 糖尿病専門医が常勤又は、月1回非常勤していること
- ・ 外来で糖尿病診療が恒常的に行われていること
- ・ 糖尿病の患者教育、食事指導が恒常的に行われていること
- ・ 糖尿病療養指導の自験例が10例以上あること
- ・ 日本糖尿病療養指導士認定機構が開催する講習会を受講し、受講修了書を取得していること

Matsusita Memorial Hospital

試験までの流れ

- ・ 講習会参加申し込み → 講習会参加後、修了証を取得
- ・ 受験申し込み
受験登録書
講習会修了証
自験例10例の記録
糖尿病療養指導業務に従事した証明書
↓
- ・ 受験資格審査後、「受験資格あり」と判定された方が筆記試験を受験できる

試験範囲

- ・ 糖尿病認定機構公認の指導士ガイドブックから出題される

Matsusita Memorial Hospital

1. 認定期間・・・5年間

2. 認定更新の条件

- ・ 認定機構が認める施設で通算3年以上療養指導の業務に従事している事
- ・ 認定機構主催の講習会に1回以上出席し、受講修了証を取得している事
- ・ 自己の医療職研修20単位および糖尿病療養指導研修20単位を取得している事
- ・ あらたな糖尿病療養指導の自験例を10例以上有している事

Matsusita Memorial Hospital